

No.207  
2024年5月1日  
滋賀県竜王町議会

# りゅうおう

議会だより

新しい門出  
桜の下で

- 定例会報告 P2～ 新・竜王小学校の建設  
委員会報告 P5～ チョイソコでも篠原駅へ行けるよ  
一般質問 P9～ Trip Base 道の駅プロジェクトの進捗は

3月  
定例会

# 令和6年度一般会計予算 過去最高規模 91億円

## 未来へつなぐ次世代への投資予算

3月定例会は、2月26日から3月22日までの26日間の会期で開催されました。初日には、西田町長が「令和6年度行政執行方針」を、甲津教育長が「令和6年度教育行政基本方針」を表明しました。

また、町長から提案のあった条例9議案、令和5年度補正予算8議案、令和6年度予算9議案、工事請負契約2件を原案のとおり可決しました。

なお、令和6年度一般会計、特別会計など13議案は、予算決算常任委員会などの常任委員会で集中審議を行い、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問は、3月18日に10議員が防災・減災対策、中心核整備、交通安全対策など町政全般にわたり議論を展開しました。【P9一般質問をご覧ください】

### 新規事業

小中学校の給食費  
の無償化  
4520万円

### 新規事業

#### 新・竜王小学校の建設

令和6年秋頃に建設開始、  
令和7年度末に完成予定

12億6795万円

### 継続事業

#### ふるさと納税の推進

町内の特産品の掘り起こし、  
新規の返礼品の開発など

1億7116万円

### 継続事業

#### チョイソコりゅうおうの運行

他に、通学定期補助・夜間特別便運行、  
町公民館前のバス停の環境改善

1278万円

# 新・竜王小学校の建設 始まる

継続  
事業



地域まるごと包括的支援の推進

孤立、貧困、疾患等の各世帯の抱える複合的な困りごとに対し、解決に向けての包括的な総合相談や地域づくりを推進

8102万円

新規  
事業



総合庁舎1階  
事務室等改修工事  
2億3500万円

継続  
事業



自治会活動への支援と  
コミュニティの活性化

未来へつなぐまちづくり交付金など

2832万円

## 今年度の主な事業

拡充  
事業



耕・畜・工連携による  
バイオマス資源の循環

近江牛の排せつ物等を活用したメタン発酵バイオ液肥・堆肥の実証、エネルギー作物の試験的な栽培など

567万円

拡充  
事業



国スポスポーツクライミング  
競技施設設営等

令和7年度 滋賀国民スポーツ大会開催  
に向けた準備

6800万円

# 質疑 予算審査

## 予算決算常任委員会

ここが  
聞きたい

3月11日、12日、13日、14日の4日間、令和6年度一般会計、特別会計（6会計）および企業会計（2会計）の予算を予算決算常任委員会で審議しました。主な質疑の内容をお知らせします。



山田 義明 委員長

### 集落営農活性化プロジェクトの内容は

**問** 対象の3集落営農法人への補助内容は。

**答** 効果的な農業生産のための共同利用機械の導入等として、溝掘機、大型トラクター、飼料稲用のラップ機、収納倉庫などである。



ロータリー（土を耕す機械）

### こども園の給食費無償化は

**問** 小中学校は無償化になるが、こども園は。

**答** 未就学児は家庭にいる方や保育園に通っている方のため、公平性を確保するため、現在は考えていないが、今後の状況等により検討していく。

### 介護保険事業者連絡協議会の内容は

**問** 新たに設置されるが、目的は。

**答** 町内の事業所を対象とする予定であり、事業所間の情報共有、研修、また、介護分野以外の医療分野等との横の連携を目的にしている。

### 水道事業・基幹管路の耐震化は

**問** 現在の配水管の耐震化状況と今後の見通しは。

**答** 基幹管路の耐震化工事として、近江八幡消防署竜王出張所前から綾戸交差点までを令和2年度から順次行っている。

今年度は、綾戸交差点から竜王小学校前を経由して綾戸北交差点まで行う。



綾戸地先での工事

### 車道のマンホール蓋の点検更新は

**問** マンホール蓋と道路面との段差により大型車等の通行時に大きな振動が起るが、その対応は。

**答** マンホール蓋の更新は予算で計上しており、定期的に点検をして順次更新している。

### 後期高齢者医療、保険料は上がるの

**問** 令和6年度は保険料が上がるようだが、率と金額は。

**答** 保険料は均等割額では4万6160円が4万8604円になり、所得割率は、8.7%から9.56%に上がる。

### お知らせ

#### 今年度の水道事業業務予定は？

- ①給水戸数 3960戸
- ②年間総配水量 149万2000m<sup>3</sup>
- ③1日平均給水量 3800m<sup>3</sup>

# チョイソコでも篠原駅へ行けるよ！

1月19日、総務産業建設常任委員会で所管事務調査を行い、概要の説明を受けました。

その内容は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され、地方公共団体にお

いて「地域公共交通計画」の策定が努力義務となり、本町では「竜王町交通計画」をベースに改正を行い、「竜王町地域公共交通計画」を策定するものです。



## 竜王町地域公共交通計画の策定

### ● 竜王町地域公共交通計画とは

地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにする公共交通のマスタープラン。

既存の公共交通を効率的かつ効果的に維持・確保するとともに、まちづくりを支える持続可能な公共交通のあり方を示し、その実現に向け具体的な取組を進めるものである。

### ● 計画期間

令和6年度から10年度までの5年間。社会情勢の変化や施策の進捗等、必要に応じて見直す。

| 位置付け   | 移動手段            |
|--------|-----------------|
| 広域（町外） | 鉄 道             |
| 地域間移動  | 路線バス            |
| 地域内移動  | チョイソコリゅうおう      |
| 自由移動   | タクシー            |
|        | 福祉有償運送（スマイル）    |
|        | 住民互助運送          |
|        | マイカー            |
| その他    | 特定目的運送（スクールバス等） |

交通ネットワークにおける位置付け

### 主な質疑応答

**問** 「チョイソコリゅうおう」と路線バスの乗り継ぎが2か所あることは、自治会にPRをしているのか。

**答** 乗り継ぎについては、自治会よりも利用者に伝えるように「チョイソコリゅうおう」のパンフレットや町のHP等に使い方を掲載している。



地域間移動のための路線バス

# 国保税は令和12年度から県内統一へ

3月1日、総務産業建設常任委員会で以下の条例改正について、付託審査を行いました。

内容は、国保財政の運営主体である県が示す

標準保険税率を参考に町の国民健康保険税率を定めていますが、令和6年度の納付金額等が示されたことにより改正するものです。



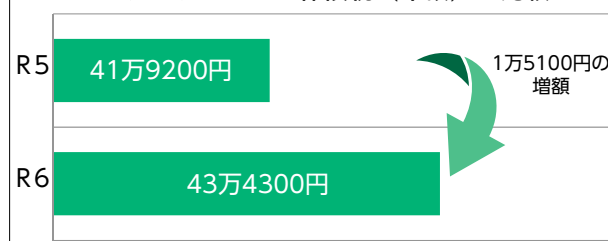
## 竜王町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

### 主な質疑応答

**問** モデルケースの場合、改正後の税率では1万5100円の増額となり大変である。財政調整基金3360万円の繰入額をもう少し増額できないか。

**答** 保険料水準の統一に向け、令和9年度までに税率の急激な上昇にならないように調整している。

### モデルケースでの保険税（年額）の比較



※モデルケース

40歳以上65歳以下の夫婦・18歳以下の子ども2人の4人世帯（夫のみ営業所得300万円、妻・子どもは所得なし）

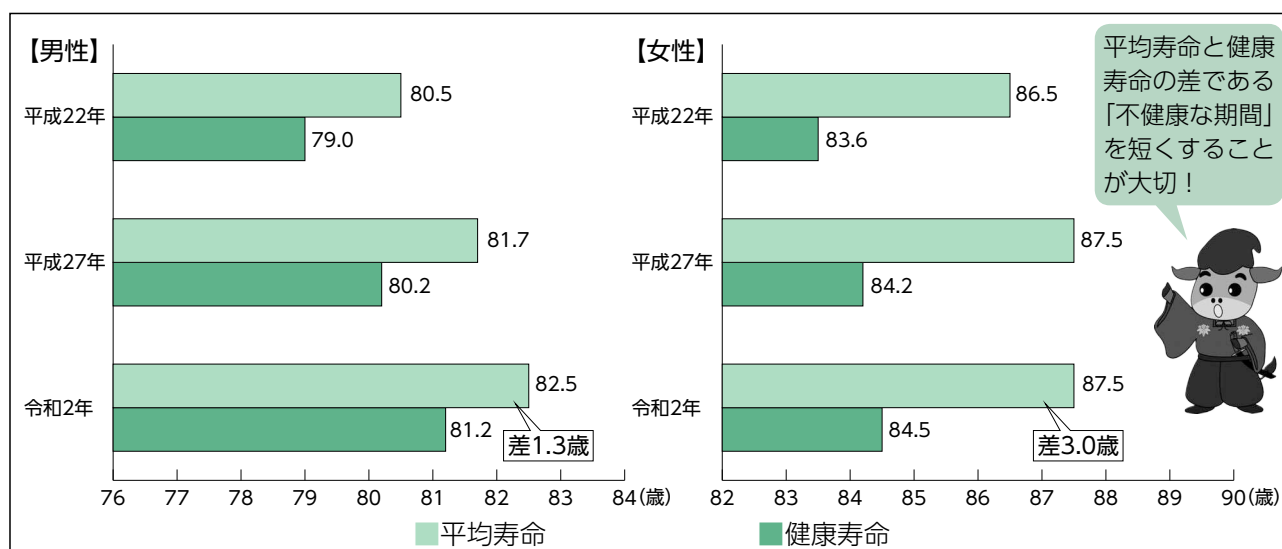
# みんなでめざそう健康づくり！

1月15日、教育民生常任委員会で「りゅうおう健康プラン」の所管事務調査を行い、概要の説明を受けました。

今回はそのうちの「第3次健康いきいき竜王21プラン」について説明します。

## 調査 第3次健康いきいき竜王21プラン

### 1 竜王町の平均寿命と健康寿命の男女別推移



### 2 今後の推進計画

#### 基本目標1 【個人】健康寿命の延伸・健康格差の改善

##### ●ベジ7チャレンジの推進

- ① 健診受診
- ② 栄養・食生活
- ③ 運動・身体活動
- ④ 歯と口腔（歯科保健）
- ⑤ たばこ
- ⑥ アルコール
- ⑦ 休養・こころ



町文化祭における歯科啓発コーナー

#### 基本目標2 【環境】健康で心豊かに暮らせる地域づくり・ひとづくり

##### ●健康づくりに取り組みやすい地域づくり

#### 主な質疑応答

**問** 今回の計画には健康推進員を増やす目標が示されていないが、各地区での活動の推進をどのように考えているのか。

**答** 現状において健康推進員の増加が難しいと考える。町としては現在の健康推進員の継続と新たな方への就任要請を勧めるとともに、不在地区での健康づくりの活動を推進していくよう検討している。

# 2年目を迎えた竜王こども園

1月31日、教育民生常任委員会で竜王こども園のこれまでの歩みと保育の状況および事業運

営状況について所管事務調査を行い、概要説明を受けました。



## 竜王こども園現地視察

### 1 竜王こども園の経営管理全体計画

教育目標：「みんな大好き 笑顔あふれる 竜王こども園」

- ① 元気いっぱい健康な子ども
- ② 夢中になって遊ぶ子ども
- ③ 自分の友達も大切にする子ども

### 2 職員から出た意見

- 子どものことを真ん中において、職員が協力して保育に取り組んでいる。
- 子どもの安心安全を基本に施設の老朽化が進む中、安全点検に努めている。
- 質の高い保育の充実に努めたいが、研修時間の確保がむずかしい。
- 完全シフト制のため報告、連絡、相談、会議、休息等の時間が取りにくい。
- 子ども達がより多くの地域の方々と触れ合う時間を大切に、保育を実施している。

### 主な質疑応答

**問** 先生方の体の健康も大切であり、リフレッシュ休暇は取得されているのか。

**答** 1～2か月に1回は自分のための休暇を取得できている。



どろんこ遊びを楽しむ子どもたち

# 介護保険料基準額（月額）下がる

3月1日、教育民生常任委員会で以下の条例改正について、付託審査を行いました。内容は、竜王町第9期介護保険事業計画の策定に伴い、

令和6年度から8年度までの介護保険料を見直すものです。



## 竜王町介護保険条例の一部を改正する条例

### 改正要点

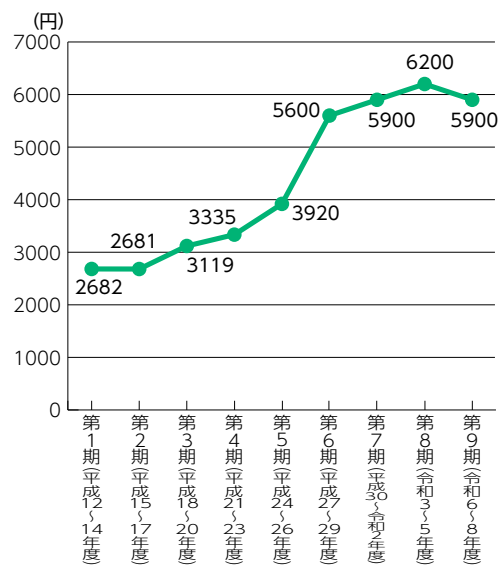
第9期においては保険料上昇の抑制を図るため、基金の取り崩しを行う。同時に、低所得者に対しては負担軽減のために保険料段階を13段階に多段階化し、第1段階から第3段階の保険料率を下げる。

### 主な質疑応答

**問** 保険料の基準額が上がっていくと基金を取崩していかなければならないと思うが、来年度以降、基金の取崩しをどのように考えているのか。

**答** 今後は保険料が急激に上昇することも想定されるため、計画的に基金の取崩しを行いながら保険料の上昇を緩やかにしていきたい。

竜王町の介護保険料基準額（月額）の推移



# 中心核の道路工事、順調に進む

3月4日、地域活性化特別委員会で中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗状況と概算事業費の見直しについて説明を受けました。



## 中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗

### ◎整備事業の経過

- 令和5年12月19日 県農業会議  
21日 開発行為許可申請書提出  
令和6年1月23日 造成工事入札取止め  
1月26日 議会全員協議会説明（上記案件）  
2月13日 造成工事入札公告（3月7日入札）  
28日 第3回定例区長会にて事業説明



進む新設道路の側溝工事

### ◎「交流・文教ゾーン」整備の概算事業費

令和6～10年度での概算事業費を見直し、従来の総事業費55億円から約83億円に上昇する。

主な事業費の内訳は令和2年度～4年度決算が約1億1000万円、令和5年度決算見込みで約8億9000万円、令和6年度は小学校建築等で約

25億3000万円、令和7年度は約29億5000万円、令和8年度は約8億4000万円、令和9年度は約9億8000万円となる。

財源は、国県の補助金が約15億8000万円（約20%）、起債が約50億1000万円（約60%）、一般財源が約17億1000万円（約20%）である。

### 主な質疑応答

**問** 令和7年度末に小学校完成ということだが、開校時期は令和8年度になるのか。

**答** 令和7年度末に完成させ、その年度の卒業生に使ってほしいとの思いで進めている。現実的には厳しい状況にあり、令和8年度の可能性もあるが、令和7年度末を目指してスピードを上げていけるように進めていきたい。

## 町民の意見を伺う

議員定数と議員報酬を見直すため議会改革特別委員会を3月4日に開催しました。

### 議員定数と議員報酬

#### 町民の皆様から聞き取りをした主な意見

- 議員定数の増減については現状の議員活動が見えないのでよくわからない。
- 選挙のあり方そのものに疑問を感じているため答えようがない。
- 政治そのものに関心がない。
- 議員定数を減らすことにより、議員の質の向上が図れるのではないか。
- 議員報酬を上げることにより、議員のなり手

不足を解消できるのではないかと。

- 議員報酬を上げることについては、数万円程度上げても効果が期待できないと考えられるため、まずは若年層の議員だけでも報酬を上げるべきではないか。

#### 今後の方向性

皆様の意見を真摯に受け止め、議員活動および議会活動を今まで以上に「見える化」し、具体的な方策と結論を導くため、今後2年間を目安に検討していくこととした。

# 町政 ここを問う!

3月定例会では10議員が28問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問を質し報告や説明を求めることです。

|    | 質 問 者 | 質 問 事 項                                                                                                                         |
|----|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 | 山田 義明 | ・ 町内に幼児専用の公園を                                                                                                                   |
|    | 森島 芳男 | ・ 国道8号西横関交差点改良事業の進捗は                                                                                                            |
| 11 | 磯部 俊男 | ・ 竜王町の能登半島地震復旧・復興支援は<br>・ Trip Base 道の駅プロジェクトの進捗は                                                                               |
| 12 | 中村 匡希 | ・ 農村下水道の未収使用料は<br>・ 町長の政策と展望は<br>※田中地先の地籍調査が完了していない理由は                                                                          |
| 13 | 三宅 政仁 | ・ 竜王中学生が通う通学路の安全性は<br>・ 山之上西山地先の感应式信号機の今後は                                                                                      |
| 14 | 橘 せつ子 | ・ 新小学校に「プールを設置しない」は住民合意の上で<br>・ 中心核整備にかかる財政計画の提示を<br>※災害対策として万全の備えを<br>※有機フッ素化合物(PFOS、PF0A)汚染の検査の実施を<br>※保育士等奨学金返還支援制度に町としても支援を |
| 15 | 内山 英作 | ・ 雪野山と鏡山でまちのPRを<br>・ 健康づくりは、地域で<br>※災害時のボランティア団体への支援は<br>※流域治水の推進を<br>※地域おこし協力隊と今後のあり方は                                         |
| 16 | 澤田 満夫 | ・ 企業版ふるさと納税の取組は<br>・ IC周辺と産業用候補地の関わりは                                                                                           |
| 17 | 大橋 裕子 | ・ 勘定海路遺跡の保存は<br>・ 竜王町緊急通報システム事業の課題は<br>※ふるさと納税の分析と今後は                                                                           |
| 18 | 若井 政彦 | ・ 自主防災組織の拡充・強化は<br>・ 中心核整備の将来像は<br>※道路交通環境整備は<br>※河川環境整備は                                                                       |

各議員のQRコードを  
スマートフォンで読み  
取ると音声配信が聴け  
るよ



近江うし丸

※は紙面の都合上、掲載しておりません。

QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

## 次回の一般質問は

## 令和6年5月30日(木)予定

議員の質問順と質問事項は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

## 問 町内に幼児専用の公園を

答 子どもの笑顔広がる公園を考えている



やまだ 山田 よしあき 議員



こんな遊具のある幼児専用公園を  
(東近江市 布施公園)

**問** 町内には幼児が安心して遊べる公園がないため、近隣の市町へ行かなくてはならないとの声をよく聞く。  
天気の良い日の屋外での親子のふれ合う時間は貴重な時間で、町内の公園で過ごせれば、この町で住んでいて良かったと強く感じられる。  
子ども達に合った遊具や芝生のある公園の設置計画はないのか。

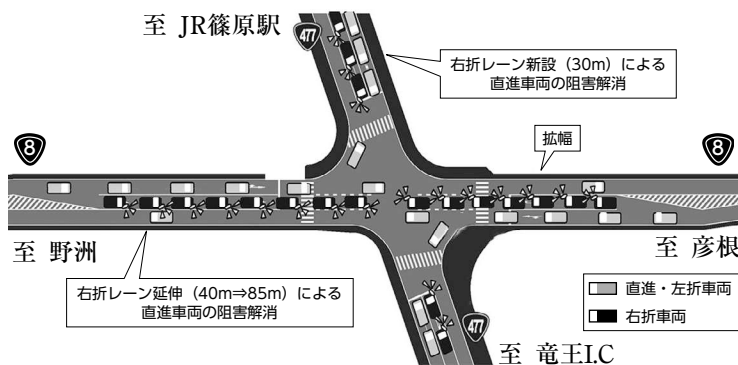
**答** 子どもの育ち、子育て支援ニーズに十分に对应えられるよう、現在、進めている中心核整備の交流・文教ゾーン内に公園整備を予定している。  
公園の基本設計では、子どもやその保護者を始めとして町民の意見を反映するように努め、子どもの笑顔が広がり賑わいがある魅力的な公園の整備を進める。

## 問 国道8号西横関交差点改良事業の進捗は

答 少しでも早く進むよう取り組む



もりしま 森島 よしお 議員



西横関交差点の改良事業の概要

**問** 以前に西横関交差点の渋滞解消を図るため、国道8号の野洲側の右折レーンを延伸する等の説明があったが、現在の進捗状況は。

**答** 国では主要渋滞箇所を選定されており、国県において改良事業を進められている。経過として、地元への事業説明、測量設計、用地測量、建物補償調査を行い、令和4年にも早く進むよう国県とともに取り組む。  
本町としては、少しでも早く進むよう国県とともに取り組む。  
度用地買収建物補償を1件完了、令和5年度に1件契約締結。残る対象物件は、今年度の契約締結に向け、地権者に鋭意説明を行う。  
工事は、今年度下半期に、支障となる光ファイバー情報ボックスの移設工事に着手予定と聞いている。



いそべ としお 磯部 俊男 議員



## 問 竜王町の能登半島地震復旧・復興支援は

答 復旧等支援、1月19日より職員派遣



能登町への給水車派遣による復旧支援

**問**  
①町の災害復旧にかか  
る支援体制と取組  
は。  
②今後の能登半島地震  
災害への支援計画と  
対応は。

**答**  
①本町の支援体制は、主  
に被災自治体からの派  
遣要請に依頼をとりま  
とめる滋賀県や日本水  
道協会滋賀県支部から  
の派遣依頼に応える形  
で実施。  
1月19日から住家被  
害認定調査業務支援を  
皮切りに、現在17名の  
職員を能登町に派遣し  
支援を実施した。派遣  
業務の内訳は住家被害  
認定調査業務に4名、  
避難所運営支援業務に  
2名、住家公費解体等  
受付業務に1名、応急  
給水活動に8名、下水  
管渠被害調査業務に2  
名を派遣し支援を行っ  
た。  
②引き続き滋賀県等から  
の派遣依頼に応えなが  
ら、できる限りの人的  
支援を継続していくだ  
けでなく、派遣に限ら  
ず様々な支援について  
も、滋賀県等からの要  
請に応じていく。

**問**  
①Trip Base  
道の駅プロジェクト  
とは。  
②建設計画と進捗状  
況は。  
③ホテルの概要と特  
徴は。  
④地域との連携と地域  
活性化は。

**答**  
①積水ハウス(株)とマリ  
オット・インターナ  
ショナルが、各自自治  
体と連携して、「道の駅」  
をハブにした「地域の  
魅力を渡り歩く旅」を  
提案する地方創生事業。  
②令和2年9月、県内  
における第1候補として  
道の駅アグリパーク竜  
王が提示され、令和4  
年9月正式決定、以降、  
町制施行70周年となる



Trip Base 道の駅プロジェクト完成予想図

令和7年ホテル開業を  
目標に進められてきた  
が、資材価格高騰の影  
響などにより、開業が  
延期される見込みで  
ある。  
③鉄骨造3階建て、客室  
75室を予定。宿泊特化  
型ホテルとして、食事  
やお土産などは道の駅  
をはじめとする地域の  
お店を利用していただ  
き、地域の人々との交  
流や道の駅との往来を  
促す計画となっている。  
④旅の拠点となる道の駅  
およびホテルと地域と  
の連携を図り、町内を  
回遊していただくこと  
により町全体の活性化  
につなげていく。

**答** 令和7年開業を目標に進められている

**問** Trip Base 道の駅  
プロジェクトの進捗は



## 問 農村下水道の未収使用料は

答 期限まで徴収に向け最大限努力する



なかむら まさき  
中村 匡希 議員



農業集落排水事業の  
殿村（川守・岩井）地区処理施設

① 令和6年2月末現在で

答

問 令和元年に発覚した農村下水道使用料の算定ミスによる未収金の現状について伺う。  
①現在の未収金の額は、  
②一部のみ納付の事業所と完納の事業所の数は。  
③未収金の徴収期限は。  
④未収金を不納欠損として処理するのは問題ないのか。  
⑤完納した事業所と一部のみ納付した事業所の公平性についてどう考えているのか。

159万8298円。  
②8事業所のうち一部のみ納付されている事業所が5つ、完納された事業所が3つとなっている。  
③現状では、令和6年5月31日となる。  
④徴収が困難であると認められない限り時効成立前に不納欠損は行えないが、時効成立後には行えることとなっている。  
⑤公平性が確保できていないのが現状であり、引き続き徴収に努めていく。

## 問 町長の政策と展望は

答 若者や女性の声を積極的に聞いていく

問 町長の考えについて伺う。

①2校ある小学校の統合は。  
②財政を考慮して削減すべき事業はあるのか。  
③大きく税収を増やす手段は。  
④自治会活動でさらなる見直しの必要性は。

①2つの小学校はそれぞれ単独の学校として成り立つ児童数があり、現時点で統合は考えていない。

②令和6年度は過去最大の予算となった。住民サービスを低下させないことを前提に各事業を精査し、財政運営の健全化に努める。

③新たな産業用地開発を實現し、ふるさと納税の寄附額増加に取り組む。

④自治会にヒアリングをし、女性や若者からも率直なご意見を多数いただいた。今後は若者や女性の意見聴取の仕組みづくりも必要と感じている。これまでの取組はファーストステップであり、セカンドステップとしてさらなる負担軽減を図っていききたい。



3期目の出馬表明をした西田秀治町長



みやけ まさひと  
三宅 政仁 議員



## 問 竜王中学生が通う通学路の安全性は

答 引き続き安全対策と指導の徹底を図る



横断歩道がある通学路（小口地先）

**問** 指定の通学路を

通っていない竜王中学校の生徒が見受けられる。小口地先のJA倉庫付近は、カーブがあり危険である。そこで、次の3点を伺う。

①この実態を教育委員会では把握しているのか。生徒への指導は。②安全に学校へ通える通学路の設定は。

**答**

①通学路及び危険箇所・通行禁止区間等を町内地図で明示しており、学校教育課も把握して

いる。引き続き交通安全全担当職員と教育委員会が密に連携を取りながら、生徒の通学の安全指導の徹底を図っていく。

②担当教員が現地確認を行った上、交通安全、防犯等の視点から通学路として適切と考えられる経路を学校で協議し、教育委員会に報告している。教育委員会は経路の交通安全、防犯、防災の視点で現場確認を行い、適切であると判断した上で、通学路として認定する。

## 問 山之上西山地先の感應式信号

### 機の今後は

**答** 信号機の存続を要望していく

更した背景と意図は。

②対象の感應式信号機の今後は。

**問** 岡屋口交差点と山之上北交差点の間にある感應式信号機が、試験的に令和6年1月中旬に点滅信号機に変わり、令和6年2月初旬には感應式信号機へ再度戻っている。そこで次の2点を伺う。

①信号機を点滅式へ変

**答**

①交通量が減少し、利用頻度が低下した信号機が増えたことから平成27年に警察庁が「信号機設置の指針」を制定。滋賀県公安委員会にお

②県公安委員会による検討のため、今後撤去されるか否かは不明であることから存続を要望していく。

いて基本的に耐用年数が迫っている信号機から、撤去等の検討が進められている。



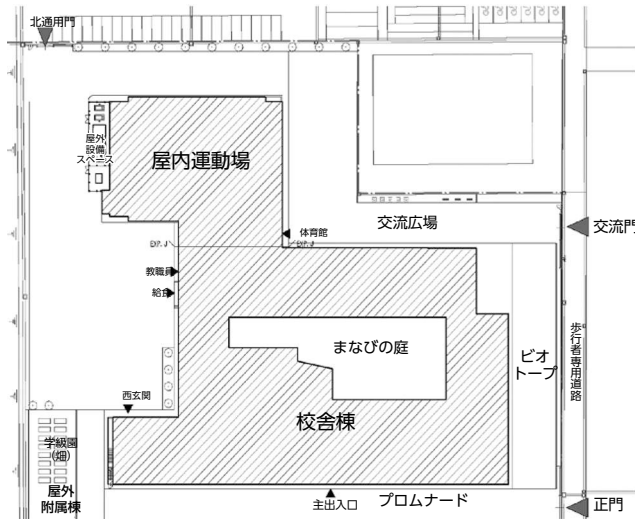
検討中の感應式信号機（西山地先）

# 問 新小学校に「プールを設置しない」は住民合意の上で

答 町HP等を通じ、整備の考え方を示す



こしま せつ子 議員



プールの設置予定がない新小学校

**問** 竜王小学校の基本設計(案)が示され、新小学校にプールは設置しない方向である。町教育委員会の「竜王町立小中学校におけるプール施設整備の考え方について」(令和5年12月作成)に基づき、今後は竜王町総合運動公園プールの活用が示された。しかし、プールは災害時の生活用水確保に必要である。町民への説明と同意が必要では。

**答** 新小学校にプールを設置しないことは、最近の水泳指導の変化や、環境面でも雨天が多く、猛暑や雷、紫外線等で安全管理が困難な状況にあるため、屋内プールの活用により安全で安定したプール指導が可能と判断した。

町HP等を通じて基本設計図面等と併せて考え方を示す。災害時の水の確保は町民への十分な対話と説明が必要と考えている。

## 問 中心核整備にかかる財政計画の提示を

**答** 事業費の検討精査後、適宜、財政計画を示す

**問** 令和6年度予算で中心核整備の予算は、新小学校建設費12億6795万円、事業地造成・道路工事等で5億954万円、合計17億7749万円である。これは物価高騰により概算予算より増額となっているが、中心核整備全体としての総額および財源は。起債ならどのような返済計画を進めるのか、財政計画を示すべきでは。

**答** 交流・文教ゾーン整備の概算事業費は各施設の整備費を約1.4倍の増加と想定し約83億円となり、財源内訳では国県の補助金等がおおよそ16億円、町債が約50億円、一般財源が約17億円と見

込んでいる。

町債償還の見通しは30年償還として試算し、町全体では令和15年度頃がピークで約7億5千万円の予定。

現在の標準財政規模の

試算では、令和17年度頃に実質公債費比率は約16%となる見込みで、適切な財政運営が可能と考えている。適宜、財政計画を示していく。



進んでいる中心核整備の道路工事



うちやま えいさく  
内山 英作 議員



## 問 雪野山と鏡山でまちのPRを

### 答 ハイキングイベントを続けていく



鏡山から雪野山方面・町内を展望する

**問** 町民憲章に謳われている二つの山、竜王山は本町をPRする上で良い社会資源である。町民へ今まで以上に関心を持ってもらい、郷土愛を高めていくことが必要である。これらの目的達成に向けた登山やハイキングなどに取り組む考えはあるのか。

**答** 竜王町観光協会が主催するハイキングイベントを続けていくほか、竜王小学校、竜王西小学校での「ふるさと学習」における校外学習、竜王こども園での園外保育の一環として登山の機会を今後も設けてもらう。引き続き町民の方々に登山やハイキングを広く親しんでもらえるよう取り組んでいく。

## 問 健康づくりは、地域で

### 答 健康推進員の不在地区を重点に推進する

**問** 第六次竜王町総合計画で健康づくり推進の課題として、「町の健康課題を町民一人ひとりが認識し、様々なつながりの中で、自らの健康を維持・増進できるよう、生涯を通じて健康づくりの取組を推進する必要がある。す。」としている。そこで、身近な集落単位での健康づくりへの取組は、大変重要になってくる。特に、健康推進員の不在地区への対策はどうか。

**答** 現在、健康推進員不在地区へは町保健師、管理栄養士等による出前講座の実施および区長や福祉委員などへ健康づくりに関する情報提供を行っている。新たな「りゅうおう健

康プラン」における取組として、健康推進員不在地区を担当保健師を中心に健康づくりの推進を図る地区を重点地区に設定し、予定である。



「いきいき100歳体操」で、健康づくり・介護予防

## 問 企業版ふるさと納税の取組は

答 企業へのアプローチを強化する



さわだ 澤田 みちお 議員



取り組みはじめた企業版ふるさと納税

**問** 企業版ふるさと納税の取組が全国的に急増しているが、竜王町も取り組むべきではないか。

**答** 企業版ふるさと納税は、地域再生法に基づき、平成28年度に創設された。これは地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに対して志のある企業を呼び込むことで、その取組を深化させていくことを狙いとしている。竜王町では、令和4年度に寄附の対象となる事

業を定めた地域再生計画「竜王町まち・ひと・しごと創生推進計画」を作成し、令和5年3月に国の認定を受けた。令和5年度は、企業のアプローチ方法の検討やパンフレットの作成等を行い、2月には本町で第1号となる寄附があった。今後は当該制度が今年度までとなっていることに留意し、他市町の事例やノウハウを有する民間事業者の支援等も活用し企業へのアプローチを強化していく。

## 問 IC周辺と産業用候補地の関わりは

**答** 産業用候補地の進捗熟度に併せて要望する

**問** 竜王ICに接している産業用候補地の一部を将来のために、ICの機能向上整備地として残す検討は。

型等を検討し国県に要望した。しかし、国では竜王IC自体は標準的で、問題は無いとの考えであった。今後は、周辺道路の機能向上は重要であると考

**答** 竜王IC周辺道路のインフラ機能向上は、IC周辺地域の渋滞対策と地域振興および開発構想に重要な要素になる。平成22年に大型商業施設開業時点に検討協議会を設立し交通基盤整備の議論をしてきた。

その結果、国道477号沿線の交差点改良や拡幅を進めてきた。IC自体の機能強化においては、南側からの高速道路へのアクセスについてスマートIC形式で、本線直結型SA・PA接続型、京阪神方面のみの流入流出に対応できるハーフIC



竜王IC南側の産業用候補地は、開発中の奥の丘陵地(中央左はICのカーブ)



おおし ゆうこ  
大橋 裕子 議員



## かんじょうかい 問 勘定海路遺跡の保存は

答 成果は、公民館等で展示し、報告会を開催する



ぼくしよど き 墨書土器  
墨書土器とは、土器に墨で文字や記号・人物・絵を描いたもの。

①令和6年度の本発掘調査地では、学校とも連

問 「交流・文教ゾーン」整備造成工事に先立ち発掘調査が行われた。この調査で平安時代の墨書土器や緑釉陶器、掘建柱建物跡が出土した。この遺跡は勘定海路遺跡と呼ばれる。①小中学生の郷土学習として現地学習する予定は。②遺跡や建物跡の保存は。③出土品の保管管理や展示は。

携し、子どもたちに遺跡発掘現場の見学などの体験学習を考えている。②調査の内容と成果を図面・写真等でデータ保存し、調査地は、遺構が損壊しないよう、保護層を設け現状保存する。③出土品は、洗浄や接合、図化などを進め、整理作業後は保管管理し、今後は公民館および図書館での展示を予定している。りゅうおう歴史文化講座での報告会等も予定している。

## 問 竜王町緊急通報システム事業の課題は

答 高齢者の安心安全の確保を図る

問 このシステムは自宅で体調の急変等緊急を要する時、ボタン一つで相談センターに繋がし、救急車を呼ぶことができるものである。そこで、次の4点を伺う。①事業の周知方法は。②町の利用状況は。③一人暮らしの方の利用料助成の考えは。④協力員のなり手不足の対応は。

答 ①福祉課地域包括支援センターでの総合相談時や民生委員定例会等、町ホームページ等で周知する。②令和6年1月現在37人利用。一人暮らし32人、一人暮らし以外の高齢者を含む5世帯。利用機器では、固定型35人、携帯型2人。③一人暮らし以外の高齢者を含む世帯には公費負担はしていない。④協力員は近隣住民、民生委員の3人の登録をお願いし、普段からの見守りも含め引き受けてもらっている。地域全体での支え合い、気にかける人を増やす取組が必要。他団体と連携しながら高齢者の安心、安全の確保を図る体制を進めていきたい。



緊急通報システムの携帯型装置



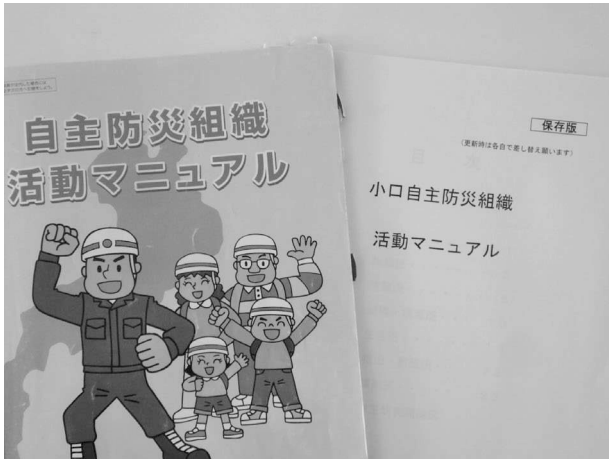
緊急通報システムの固定型装置

## 問 自主防災組織の拡充・強化は

答 ステップアップした取組を行う



わか い まさひこ  
若井 政彦 議員



自主防災活動の充実を

**答** 自主防災組織は、防災の三助である「自助」「共助」「公助」の中でも主に「共助」の位置付け

**問** 能登半島地震では、ライフラインの確保や避難所開設、運営などで多くの課題や教訓が明らかになった。現在想定されている南海トラフ地震などへの不安や危惧は、これまで以上に高まると考えられる。そこで、地域防災力向上に向けた自主防災組織の拡充・強化は、

強いものである。自治会組織が中心となり組織されているものが多く、ほとんどが概ね年一回以上、避難訓練や応急救助訓練などをメインとした自主防災訓練を実施しており、地域防災力向上に寄与している。今後、さらにステップアップした取組を行っていく。また、能登半島地震の教訓を反映し、自主防災組織を巻き込んだ避難所運営のあり方を地域防災計画に位置付けたい。

**答** ①現在、居住ゾーン整備基本構想の策定に向け、法規制や立地環境の整理、人口の流入出、通勤通学等の状況分析、周辺住宅エリアの情報収集等を行っている。今年度においては基本方針の策定・公表を行い、開発事業者の募集・選定へと進めていく予定。  
複合ゾーンについては、飲食店やカフェ、医療機関やホームセン

**問** コンパクトシティ化構想の次の展望について伺う。  
①居住ゾーン・複合ゾーンはスケジュールどおりに実現するのか。  
②この地域における農地利用の姿を描く地域計画との整合は。



複合ゾーンの予定地

「地域計画」とは、農業者や地域のみなさんの話し合いにより策定され、概ね10年後を見据え、誰がどのように農地を使って農業を進めていくのかを明確にする計画。

ターなどの民間活力を誘導し、利便性が高く賑わいのある空間とする想定。民間主体の開発を想定しており、具体的なスケジュールを示せる段階ではないが、地域の意向等に留意して着実に進めていきたい。  
②「複合ゾーン」が含まれる集落は、中心核整備のスケジュールが具体化する過程で「地域計画」との整合も含め検討する。

**答** 地元の意向に留意し着実に進めたい

**問** 中心核整備の将来像は



# 民生委員・児童委員との議会報告会(懇談会)



課題と苦労話を聞きました。  
(主な発言)

2月2日(金)午後7時から、竜王町防災センターで民生委員・児童委員30名の皆さんと議員全員との議会報告会(懇談会)を開催しました。終了後、民生委員・児童委員から「各地区の困りごとなどの話し合いができ、福祉の問題点の掘り起こしができた」等のお声を頂きました。議会として、社会福祉を考える上で参考になり、今後の議会活動に活かしていきます。

## 自治会との連携

- 民生委員・児童委員の自治会の位置付けが地域によって様々。
- 自治会役員が1年交代で連携が不安。
- 複数集落担当は、隣の集落状況の把握は困難。

## その他

- 生活のどこまで踏み込んでよいのかわからない。
- 防災等では誰が困っているか解りにくい。
- 福祉委員(会)等と連携について日常及び災害時の備えが必要。
- 民生委員・児童委員のなり手不足に苦慮。
- 災害時に対応できるのか不安。

## 行政との連携

- 行政からの情報開示にプライバシー(知られたくない権利)のこともあり、各家庭にどのような状態の人がいるのか把握が難しい。
- 休日での行政担当との連絡網等を確認しておくことが必要。

## <課題の整理>

- 自治会との連携のあり方の整理。
- 1年交代の自治会役員の自治会ごとの検討。
- 複数集落を担当する委員の各集落の状況を把握する体制づくり。
- 民生委員・児童委員の情報共有の整理。
- 休日での行政との連絡網の周知。



活発なグループ討議

## 参加をお待ちしています

竜王町老人クラブは、65歳以上の会員が加入している連合会組織です。

連合会では、会員相互の親睦や健康づくり、生きがいづくり、地域づくりを目指して様々な活動に取り組んでいます。シルバーカレッジ・グラウンドゴルフ・ゲートボール・スポーツ大会や町内の清掃活動、福祉施設の奉仕活動、趣味のお花あそび教室、研修旅行など様々なイベントを開催しています。各字で実施できない事業を数多く企画していますので、会員の皆様の参加をお待ちしています。

竜王町老人クラブ連合会 会長 古株 克彦

また、定年延長で昨今は若い人の加入が少なく各字の役員のなり手の確保が厳しい状況で、単位老人クラブの運営に支障が出てきています。

連合会では、地域に老人クラブのない個人会員様の募集も随時行っておりますので、入会をよろしくお願いいたします。



表紙

## ご入園おめでとう

今年の桜は例年に比べて開花が遅れ、竜王町立竜王こども園では桜が4月に色を付けました。しかし、その遅咲きが新入園児たちを迎えるのにぴったりのタイミングとなり、入園式当日は、19名の園児が新たなスタートを切りました。式典では、子どもたちの表情から緊張感が伝わってきましたが、式が終わって外に出た瞬間、保護者の待つ桜の木の下で一斉に笑顔の花が咲きました。この日のためにきっと桜も待っていたでしょう。



## 編集後記

田植えの季節が訪れ、昨年10月から第18期竜王町議会がその第一歩を踏み出し、7か月が経ちました。この短い期間にも、急激な物価高騰が進み、町内大手自動車メーカーの認証不正もあり、議会でもその対策等について協議をしてまいりました。

また、議員報酬や定数のあり方等についての議論も始まりました。先日の議会改革特別委員会では、各議員が住民の方からヒアリングした内容を持ち寄りましたが、報酬や定数について知らない、議会に興味がない、という意見が多く、議会と住民の方との距離が遠いことを痛感するものでした。議員一人ひとりが今後一層、住民との距離を縮める努力をしてまいります。

### 議会広報特別委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 内山 英作 |
| 副委員長 | 橘 せつ子 |
| 委員   | 中村 匡希 |
| 委員   | 大橋 裕子 |
| 委員   | 澤田 満夫 |
| 委員   | 磯部 俊男 |